

# シンガポールの公共交通やインフラ整備について

新川西中学校  
丸山 麗雄

《はじめに》

私が今回の交流事業においてこのテーマを設定した理由は、私達中学生が普段から頼らざるを得ない公共交通、そして同じ発展途上国には欠かせないインフラ開発がシンガポールではどのように行われているのかを、日本との違いを踏まえ学習したいと思ったからです。

—事前調査における結果—

シンガポールは、バス、地下鉄が主な移動手段として利用されているようです。またタクシーは、日本よりも安価で使い勝手が良いため、国民の中で上手く使い分けられて広く利用されているようです。これらの大まかな事前調査を通して、日本との利用の違いを感じ取ることができます。シンガポール現地での調査結果を踏まえ、事前調査における内容を説明します。

《シンガポールでの調査》

今回私が実際に行った調査は、まず自分が見たり利用してみてもう感じたか、そしてそれを元に疑問点や詳細をバディやホストファミリー、現地の人にインタビューし学習しました。

—MRT (地下鉄)—

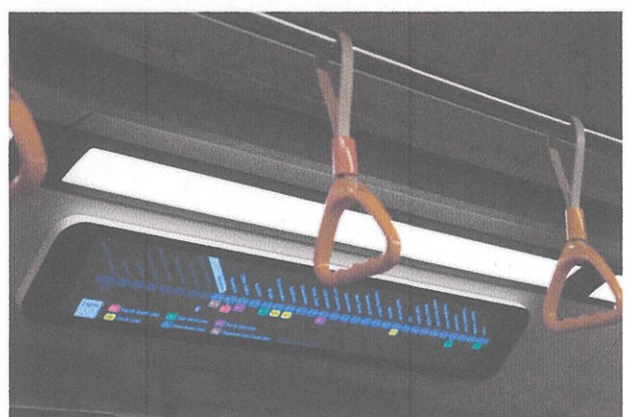
右の資料1、資料2の写真から読み取れるように、車内の内装や雰囲気は日本の地下鉄と変わらないように見えます。それは、日本の川崎重工という会社を主として地下鉄車両が輸入されているからです。では次に、地下鉄の運行形態について説明していきたいと思います。

シンガポールの地下鉄は、MRT (Mass Rapid Transit) 日本語で大量高速機関の意味を持つ会社によって、基本的に全自動で運行されています。下の資料3のように、路線は全6路線あり分かりやすいように色分けされています。

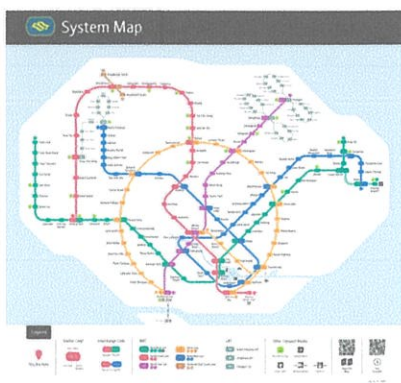
資料1 MRT (地下鉄) の車内



資料2 MRT (地下鉄) 内の電光掲示板



資料3



## －SBS Transit (バス)－

右の資料4の写真から読み取れるように、シンガポールでは日本ではあまり見ることのできない二階建てバスが多く走っています。また、国土が狭いながらもバス路線が多く存在し、バス停に立っていると様々な路線のバスがひっきりなしに走っている様子を見ることができます。

シンガポールのバスは、**SBS Transit**と**SMRT社**という二つの会社により運行されています。いずれの路線バス会社も仕組みは同じです。運賃は、ICカードまたは現金で支払いが可能です。しかし、現金の場合は、ICカードよりも運賃が高くお釣りが出ないため、多くの国民はEz-LinkカードというICカードを利用しているようです。

## －インフラ整備－

今回の事業において、直接インフラについて詳しく学習する機会はありませんでした。しかし、右の資料5の写真を見ても分かるように、高速道路や多車線道路が整備されており、交通量の多さに対応しています。またその大きな道路を境にそれぞれの街が作られていることが、バディの話を聞いたり、実際に見たりして学習することができました。

また、市街地から少し離れた住宅街エリアを訪れると、建設中の集合住宅 (**HDB**) やショッピングモールが多くあり、限られた国土の中で自然を守りつつも更なる都市化を目指すシンガポールの姿を見ることができました。

## 《まとめ》

シンガポールの公共交通やインフラは、自分自身が思っていた以上に整備されており、国民の欠かせない足となっていることが調査を通して分かりました。調査結果には記載しませんが、公共交通機関の車内でのルールはしっかりと定められており、例えばドリアンフルーツの持ち込みが禁止されていたり、飲食が禁止されていたりします。こうした細かな利用ルールも、シンガポールという国を綺麗なものに保つことへ繋がっているのだと思いました。

資料4 SBS Transit のバス



資料5 高速道路と一般道





《おわりに》

私は、今回のシンガポール交流事業を通して多くのことを学習しました。  
テーマにし調査した公共交通やインフラ整備はもちろん、多くの食事や民族性など実際に訪れて  
みなければ知ることのできないことを多く知ることができました。

今回の事業を企画して頂いた札幌市の職員の皆様、バディのアイザック、お世話になったホスト  
ファミリー、事業を共にした団員のみんな、本当にありがとうございました。  
この経験を活かし、今後様々なことに挑戦していきたいと思います。

